

平成24年度 決算概要

歳入総額 **40億7,813万円**

前年度比 0.4%減(1,472万円減)

歳出総額 **38億9,961万円**

前年度比 0.1%増(387万円増)

～ 一般会計 歳入歳出決算の概要 ～

平成24年度の松田町歳入歳出決算について、町議会定例会で認定されましたのでその概要をお知らせします。

一般会計の歳入総額は40億7,813万円、歳出総額は38億9,961万円、歳入は前年度比で0.4%の減少、歳出は0.1%の増加となりました。

町の歳入の根幹である町税は、評価替えに

よる固定資産税の減少を主な要因として、前年度比1.3%の減となっています。

歳出では、住宅取得促進事業などの定住促進に係る事業、認可保育所の新設や幼稚園の統合に係る事業などを実施しました。

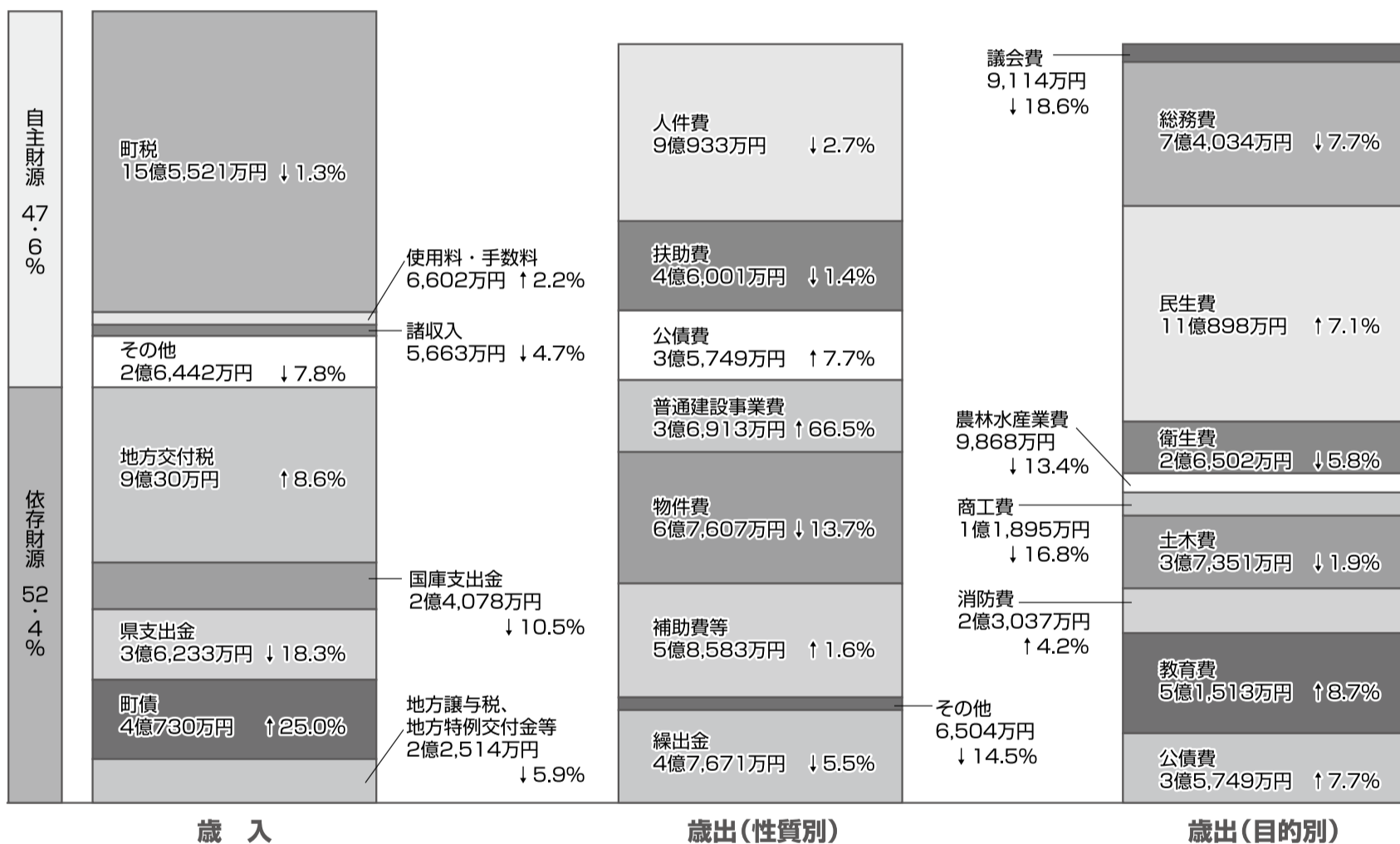
歳入歳出差引は、1億7,852万円となり、繰越事業の財源72万円を除いた平成25年度への純繰越額は1億7,780万円となりました。

決算とは

[予算] 1年間の町の財政計画であると同時に諸政策を定め、毎年4月号でお知らせしている。

[決算] 実際にお金がいくら入り(歳入)、何に使ったのか(歳出)をまとめたもの。

町の決算は、年度終了後、監査委員の審査を受けた後、議会で承認を受け、確定します。



* ↑ ↓ は前年度対比を表しています * 金額は1万円未満を四捨五入しているため合計値が一致しない場合があります

平成24年度歳入決算と歳出決算の特徴について

〔歳入〕 平成24年度一般会計歳入決算については、前年度と比べ1472万円の減となりました。減少要因としては、ふるさと雇用再生特別交付金事業や緊急雇用創出事業の縮小に伴う県支出金の減少(18.6%減)などが挙げられますが、自主財源のうち大半を占める町税についても1.3%減少し、自主財源が歳入全体に占める割合は、前年度から0.9ポイント減少し47.6%となりました。これは平成24年度に実施された固定資産税の評価替えによる減収(4.3%減)が大きな要因ですが、一方で住民税では、年少扶養控除の廃止などの影響により個人住民税(1.1%増)、法人住民税(16.1%増)が、それぞれ増収となっています。

〔歳出〕 歳出決算については、前年度と比べ387万円の増となっています。定住促進に係る事業としては、バス路線の確保と高齢者の負担軽減を目的とした「高齢者バス定期券助成事業」、「通学定期券助成事業」、「住宅取得促進事業」、中学校修了まで助成対象を拡大した「小児医療費助成事業」、「公有地等宅地化整備促進事業」などを実施しました。

ハード面の整備などの投資的事業(性質別決算では普通建設事業費に分類)は、住みよいまちづくりを推進するため例年行っている「道路新設改良事業」や「道路補修事業」のほか、認可保育所の新設に係る「保育所整備支援事業」や第一幼稚園と第二幼稚園の統合に先立ち、園舎などの整備を行った「第一幼稚園施設整備事業」の実施が挙げられます。これらの事業の実施の結果、平成25年4月から、旧第二幼稚園所在地には認可保育所である「松田さくら保育園」が、旧第一幼稚園所在地には統合幼稚園である「松田幼稚園」が開園しました。また、これらの事業は将来を担う世代への環境整備として、定住促進に関わる側面も持っています。

※ 目的別決算とは、支出を行政目的によって分類したものです
※ 性質別決算とは、支出について経済的性質を基準として分類したものです